



サンスクリット語 moh (モーハ) 経典に記載

by地涌の声

莫迦 (痴・バカの意) だったと言わざるを得ませんの巻

この作品は、仏教徒の対立を批判するためのものではなく、誰にでも起こりうる「無明の働き」を自分自身に照らして見つめるためのものです。仏教では、物事はさまざまな条件によって生じると説かれています(縁起)。対立もまた、個人の問題にとどまらず、認識や立場、関係性などの条件が重なって生じ、続いていきます。そのため、対立を善悪で裁くのではなく、その条件に気づき、振る舞いを見直すことが重要になります。条件が変われば、行動も変わり得ます。

この作品は、その構造を可視化し、自らに引き寄せて見つめるための試みです。誰かを批判するのではなく、自戒として受け取っていただければ幸いです。
一心欲見佛合掌礼拝 太田日瓏